

はしがき

本報告書は、国立国会図書館調査及び立法考査局が行った平成26年度科学技術に関する調査プロジェクト「情報通信技術の進展に伴う諸問題」の成果であり、『情報通信をめぐる諸課題』及び『情報通信技術の進展とサイバーセキュリティ』の二部により構成されています。

「科学技術に関する調査プロジェクト」は、平成22年度から、科学技術に関わる国政課題の国会審議及び議員各位の研究に資することを目的として、毎年度、特定のテーマの下に外部の研究者等と連携して調査を行い、その結果を報告書として国会及び議員各位にご提供するものです。国立国会図書館法（昭和23年法律第5号）は、調査及び立法考査局の任務として、両議院、委員会及び議員に対して、その要求を予測して役立つ資料を提供することを掲げており、本プロジェクトもその任務の遂行の一つとして行っております。

本プロジェクト発足後5年が経過し、ひとつの節目を迎えました。今後のプロジェクト活動をさらに充実させ、真に国政審議に役立つものとするべく、『情報通信をめぐる諸課題』中に「科学技術に関する調査プロジェクトを振り返る」と題し、プロジェクトの経緯及びこれまでの活動を顧みる記事を付録として掲載しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

今回のプロジェクト「情報通信技術の進展に伴う諸問題」の趣旨・目的は、『情報通信をめぐる諸課題』の「はじめに」において詳述しておりますが、政治・経済・社会・個人生活のほとんどあらゆる面に深く浸透しつつある情報通信技術は、文明の向上に大きく貢献する一方、様々な局面で課題が生じていて、政策・制度上の対応が急務であるという基本的認識があります。

情報通信技術は、日常の身近な生活から国家活動に至るまで、重要な社会基盤の一部となっており、そのために、課題の多様さ、複雑さ及び課題への対応の必要性・緊急性の高さという点において、調査に値すると考えたものです。

本報告書は、こうした認識の下、まず、『情報通信をめぐる諸課題』において、政治、行政、防衛、医療等、広範な社会的側面から情報通信技術に関わる政策の現状及び課題を整理しつつ、データ利用高度化・オープンデータ化に伴う課題ないし情報セキュリティの課題を扱っております。その一部については、諸外国の現地調査も併せて行い、その結果を反映させております。そして、『情報通信技術の進展とサイバーセキュリティ』においては、調査内容をサイバーセキュリティに絞り、歴史的経緯から基本概念、現代における脅威、要素技術、マネジメント、社会的問題までを俯瞰的に取り上げております。

本報告書が情報通信技術・政策に関する国政審議、議員各位の研究のお役に立つことを、またこの問題に関心を寄せられる方々に広く活用されることを心から願うものです。

平成27年3月

国立国会図書館 副館長・調査及び立法考査局長事務取扱 網野 光明